

【事業名】蓄電池のデュー・デリジェンス実証事業

事業者名：SGSジャパン株式会社

実施期間：令和5年12月～令和6年2月

1. 事業の背景・目的

すでに質問票形式による蓄電池のサプライチェーン デュー・デリジェンスが実施されているが、この質問票による情報収集とリスク評価、およびサプライチェーン上のコミュニケーションが有効に機能しているかを確認し、来たる欧州バッテリー規則が求めるサプライチェーンへの対応への準備を図ることが目的。

- 実地での第三者検証を実施することで、規則が求める第三者検証への習熟を図る
- 実地検証により、質問票による管理との差分を体感することで蓄電池サプライチェーン デュー・デリジェンス確立の一步とする。
- 第三者検証を実施する事業者としては、評価水準をどこに定めるかという判断軸を実証から得ることで、今後の第三者検証の在り方へ視座を得る。

2. 補助事業の概要

- 質問票によるサプライチェーン上でのデュー・デリジェンスの妥当性を実地検証により確認する(4-5件程度)。
- OECDなどのガイドラインやRMIなどの国際的なスキームも考慮しながら、要点を抑えた実地検証プログラムを作成。初回であることと、受入企業の時間的制約のため、検証スコープは限定する。
- 将来的に本格化する第三者検証・監査へむけて、検証・監査機関として方法論を確立し、今後のエコシステム・ルール形成に有効なデータを収集・レビューする。

DDに関するマネジメントシステムの構築

サプライチェーン マネジメント

・ミネラル サプライチェーン

個別リスク評価(人権)

・労務安全衛生

・児童労働

・強制労働

・差別

・労働組合・団体交渉

